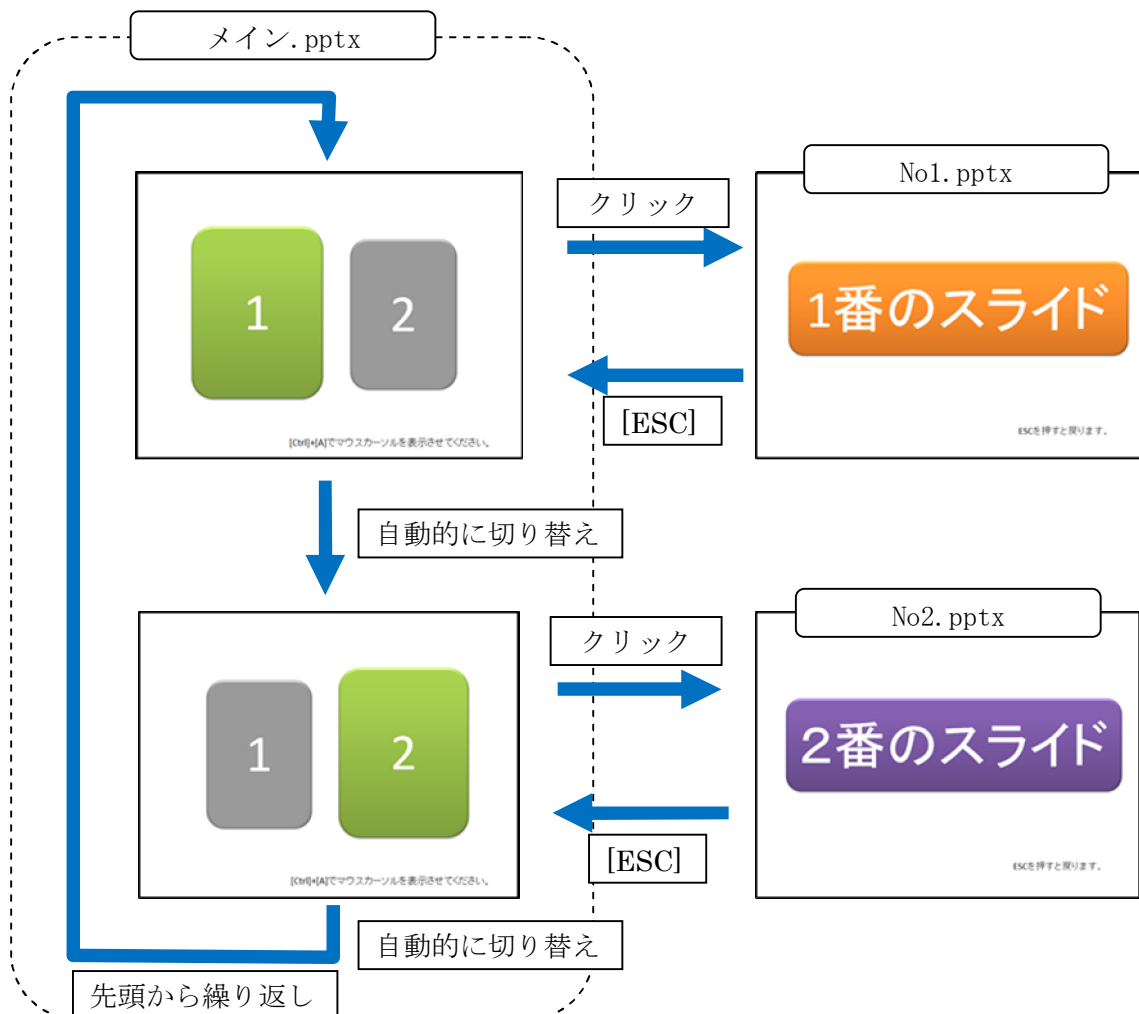





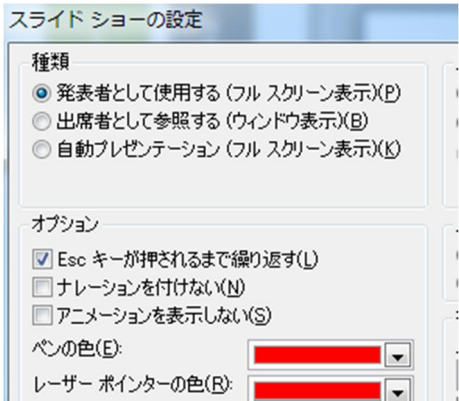
オートスキャン

選択課題でマウス操作ができない場合はオートスキャンを使うとスイッチ1つで選択できます。オートスキャンは、フォーカスされている選択肢が一定時間ごと自動的に変わり、スイッチを押すことでその時フォーカスされている選択肢を選択するという方法です。パワーポイントでオートスキャンを実施する場合は、下図のように選択ボタンを表示するためのスライド（メイン.pptx）と選択後に表示するスライド（No1.pptx、No2.pptx）を使用します。選択後の動作は、パワーポイントスライドの表示の他、他のアプリケーションソフトを起動させることもできます。


図：オートスキャンを実現するためのスライドの構成



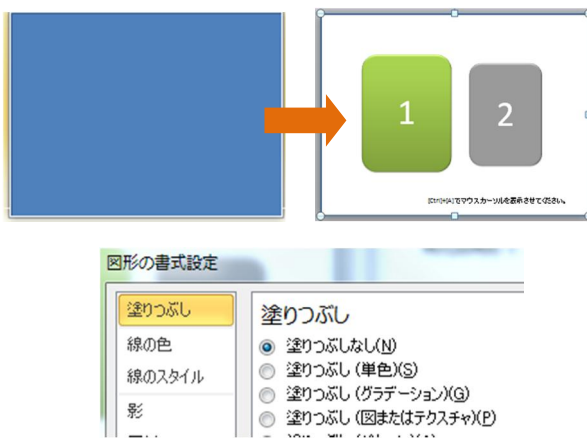
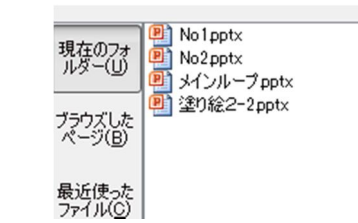
Step 1 選択ボタンのスライドファイルの作成

<p>1</p>	<p>選択ボタンの作成</p> <p>①スライド1に選択ボタンを配置する。 ※シンボルや写真でもよい。</p> <p>②「[Ctrl]+A でマウスマウスカーソルを表示させてください。」と注意書きを入れる。 ※マウスマウスカーソル（矢印）が表示されていないと、クリックしてもハイパーリンク先に移動しない。</p>	
<p>2</p>	<p>フォーカスボタンの作成</p> <p>①選択肢の数に応じてスライド1をコピーする。</p> <p>②各スライドで選択ボタンのひとつをフォーカスされているボタンとして目立たせる。（または他のボタンを目立たなくする。） 例：サイズ拡大、他のボタンの配色を暗くする</p>	
<p>3</p>	<p>スライドの自動切り替えの設定</p> <p>①[画面切り替え]-[タイミング]中で「自動的に切り替え」にチェックを入れ、切り替え時間を設定する。</p> <p>②（必要に応じて）画面切り替え時のサウンドを設定する。</p>	
<p>4</p>	<p>スライドの繰り返し表示の設定</p> <p>①[スライドショー]-[スライドショーの設定]を選択。</p> <p>②[オプション]中の「Esc キーが押されるまで繰り返す」をチェックする。</p> <p>③スライドショーを開始し、選択ボタンがスクリーンされることを確認する。</p>	

Step 2 選択後に表示するスライド作成

5	<p>選択（クリック）後に表示するスライド作成</p> <p>※この例ではスライドファイルを 2 つ作成する。ファイル名は No1.pptx、No2.pptx とした。</p> <p>※選択後にパワーポイント以外のアプリを起動する場合は、このスライドの作成不要。</p>	
6	<p>クリックでスライドが終わらないように設定</p> <p>①最後のスライドで</p> <p>[画面切り替え]-[タイミング]中の「画面切り替えのタイミング」のチェックを外す。</p> <p>※Esc キーでスライドが終了する。最後のスライドに「Esc で戻る」と書いておくとよい。</p>	

Step 3 ハイパーリンクの設定 ※Step 1 で作成したファイルを編集

7	<p>ハイパーリンク設定用図形の配置</p> <p>①[挿入]-[図形]から「長方形」を選択し、スライド全面を覆うように配置する。</p> <p>②配置した図形を選択して右クリックして、[図形の書式設定...]を選択する。[塗りつぶし]で「塗りつぶし（単色）」を選択し、透過性を 100% にして透明にする。</p> <p>③残りのスライドにも同様に配置する。</p>	
8	<p>ハイパーリンクの設定</p> <p>①7で配置した図形を選択し、[挿入]-[ハイパーリンク]を選択します。</p> <p>②クリックされた場合に表示するスライドファイルを選択する。</p> <p>※他のソフトを起動する場合は、それを選択する。</p> <p>③全てのスライドでハイパーリンクを設定する。</p>	
9	<p>動作確認</p> <p>①スライドショーを実行し、クリックで選択したスライドの表示が行われることを確認する。</p> <p>【注】 選択後に表示するスライドは閉じておくこと。</p>	

【使用上の注意】

ハイパーリンクへの移動は、マウスマウスカーソルが表示された状態でないと実行されない。[Ctrl]+A でマウスカーソルが表示される。マウスを移動させても表示されるが、しばらくすると消える場合がある。